

11月25日 Alkmaal  
Netherlands

11月25日、オランダ・アムステルダムにて。  
「希望の火」がピースウォークを企画し大勢が参加されました。  
「どちらかの国につくのではなく、人間の側に立とう！」



12月3日 Alkmaal  
Netherlands

12月3日、オランダ・アルクマール市にて。  
教派の違うキリスト教会同士が交流を深める運動の一環で、第一待降節に「希望の火」でろうそくが灯されました。それは人々の心に温かな光をともしました。



12月7日 NewYork  
U.S.A

アメリカ・ニューヨークにて。  
UN教会センター・ティルマンチャペルに灯された「希望の火」。それは、中東の平和を願う人々の祈りと共に、静かに、しかし力強く輝きました。  
この神聖な瞬間、平和財団の中垣顕実人と「希望の火」は、新たなパートナーシップを結びました。  
燃え続ける光は、国境や民族を越え、人々の心をつなぎ、争いのない未来へと導いていきます。



12月8日 Central Park  
U.S.A NY

アメリカ・ニューヨーク市セントラルパークにて。  
ジョン・レノンを偲ぶ「ストロベリー・フィールド・ピース・パーク」で、彼の命日に「希望の火」が灯されました。集まった人々は、静かに祈りを捧げ、写真を撮り、願いを言葉にし、平和への想いを込めてオンラインで寄付をしました。



12月9日 Washington,  
D.C.  
U.S.A

アメリカ・ワシントンDCにて。  
「希望の火」は、チベットハウス北米代表のチョエドラップ氏と出会い、お互いにどのように支え合えるかを語り合いました。  
そして、「希望の火」に祈りを捧げ、その願いがさらに広がるよう思いを込めてくださいました。



12月20日 Tel Aviv  
Israel

イスラエル・テルアビブにて。  
イスラエルのサンガメンバーは、10月7日のハマスのテロ攻撃直後から自宅避難を余儀なくされた多くの犠牲者に、指圧治療のサポートを始めました。  
また人質となっている指圧師を支援するのイベントにも参加し、多くの人々に希望と勇気を与えました。



12月21日 Madison  
U.S.A

アメリカ・マディソン市にて。  
毎年恒例の冬至のお祝いでは、「希望の火」が焚き火に灯り、その炎が夜空に優しく揺れ動きました。  
486人がその火に静かに願いを捧げ、一人ひとりの心の中で希望の光がとまり、つながりを感じる瞬間が広がっていきました。



2024年  
1月  
26~28日 Dayton  
U.S.A OH

アメリカ、オハイオ州デイトンにて。  
国際平和博物館での非暴力の会合に参加。  
トーシャ・ガンジー氏とジョエル・キング牧師による非暴力のプレゼンテーションと祈願式が心に深く響きました。  
また、「HOPEワークショップ」を共にし、希望を育み平和の大切さを改めて感じる貴重な時間となりました。



2月  
every thursday Alkmaal  
Netherlands

オランダ・アルクマールにて。  
1月末から木曜日に駅前立って、人道的なメッセージ・非暴力・停戦を訴えています。  
「どの命も大切、人類の側に立とう！」



希望の火とは



「長崎・誓いの火」を種火に、「原爆の残り火（1945年8月6日以来燃え続けている）」、「空海の霊火（常灯1200年）」、「エルサレムのイエスの火（常灯1200年）」など、世界の火16を一つに合わせたもの。  
宗教を超えた約40万人が祈りを込めています。